

(30) さやえんどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 苗立枯病 <i>Pythium debaryanum</i> <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 連作を避け、4～5年の輪作をする。 2. 土壌酸度を矯正する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2. ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤、リゾレックス水和剤はリゾクトニア菌にのみ登録がある。 3. キヒゲンR-2フロアブルはタネバエにも登録がある。	播種または定植21日前まで	- -	ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
		播種前 (塗沫)	M3	キヒゲンR-2フロアブル
		播種時	14	リゾレックス水和剤
2 茎腐病 <i>Thanatephorus cucumeris</i>	1. 発病株は抜き取る。	播種時 (粉衣)	14	リゾレックス水和剤
		発生前	14	リゾレックス水和剤
3 炭疽病 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i>	1. 健全株から採種する。 2. 連作を避ける。 3. 早播きしない。 4. 湿地に栽培しない。			
4 褐斑病 <i>Ascochyta pisi</i>	1. 健全株から採種する。 2. 連作を避ける。 3. 早播きしない。 4. 湿地に栽培しない。	発病初期	1	トップジンM水和剤
5 うどんこ病 <i>Erysiphe pisi</i>	1. 湿地の栽培を避ける。 2. 密植を避け、採光通風をよくする。	発病初期	3 3 3 M1	トリフミン水和剤 ラリー水和剤 サプロール乳剤 サンヨー乳
6 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i>	1. 露地栽培では排水をよくし、過繁茂にならないように施肥整枝を行なう。 2. ハウス栽培では換気による湿度低下を図る。 3. 被害莢や茎葉は除去して圃場外で処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. トップジンM水和剤は褐紋病にも登録がある。	開花期前から	1 7 11 M1 1・10	トップジンM水和剤 カンタスドライフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 サンヨー乳 (混)ゲッター水和剤
7 菌核病 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	1. 露地栽培では排水をよくし、過繁茂にならないように施肥整枝を行う。 2. ハウス栽培では換気による湿度低下を図る。 3. 被害莢や茎葉は除去して圃場外で処分する。 4. 連作を避ける。 5. 夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発病前から	1 11	ベンレート水和剤 ファンタジスタ顆粒水和剤
8 先端黄白化症		発生初期	M1	Zボルドー
9 アブラムシ類 (モザイク病 BYMVほか)	1. 健全株から採種する。 2. 圃場及び周辺の雑草処理を徹底する。	発生初期	1B 1B 4A 9B	スミチオン乳剤 マラソン乳剤 モスピラン顆粒水溶剤 コルト顆粒水和剤
10 ナモグリバエ	1. 圃場及び周辺の雑草処理を徹底する。 2. ハウス栽培では、紫外線除去フィルムを用いると発生、被害が軽減できる。	発生初期	1B 3A 3A 6 14 UN	マラソン乳剤 アデイオン乳剤 スカウトフロアブル アフアーム乳剤 パダンSG水溶剤 プレオフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

さやえんどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
11 ウラナミシジミ	1. シルバーポリフィルムによるマルチを行う。	発 生 初 期	3A 3A 3A 14	ア デ イ オ ン 乳 剤 ト レ ボ ン 乳 剤 ト レ ボ ン E W パ ダ ン S G 水 溶 剤
12 シロイチモジヨトウ	1. 生育初期に防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。 2. 卵塊や幼虫の発生に注意し、発見したら捕殺する。	発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	3A 3A 3A 11A 11A 15 15	ア デ イ オ ン 乳 剤 ト レ ボ ン 乳 剤 ト レ ボ ン E W ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤 デ ル フ ィ ン 顆 粒 水 和 剤 ノ ー モ ル ト 乳 剤 ア タ ブ ロ ン 乳 剤
13 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。	発 生 初 期 (若 齢 幼 虫 期)	6 11A 11A 11A 11A 11A 13 UN	ア フ ェ ー ム 乳 剤 バ シ レ ッ ク ス 水 和 剤 ゼ ン タ ー リ 顆 粒 水 和 剤 デ ル フ ィ ン 顆 粒 水 和 剤 フ ロ ー バ ッ ク D F サ ブ リ ナ フ ロ ア ブ ル コ テ ツ フ ロ ア ブ ル プ レ オ フ ロ ア ブ ル
14 コナジラミ類	1. 施設栽培の場合、飛び込み軽減のため防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。	発 生 初 期	4A	モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤
15 アザミウマ類	1. 施設栽培の場合、飛び込み軽減のため防虫ネット（1mm目合以下）で被覆する。	発 生 初 期	4A	モ ス ピ ラ ン 顆 粒 水 溶 剤
16 ハダニ類	1. 圃場内や周辺雑草は作付前に除草する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発 生 初 期	13 21A	コ テ ツ フ ロ ア ブ ル ダ ニ ト ロ ン フ ロ ア ブ ル